

行徳救急1

曾谷救急1

令和5年度

高規格救急自動車の製造

仕様書

市川市消防局

企画管理課

目 次

1	総 則	1
2	仕 様	1
3	検 査	6
4	保 証	7
5	そ の 他	7
6	別 表	8

第1 総 則

- 1 この仕様書は、市川市消防局（以下「当局」という。）が、令和5年度に整備する高規格救急自動車（以下「車両」という。）の製造及びこれらに関する仕様について定める。
- 2 車両は、この仕様書がすべて満足されるものでなければならない。
- 3 車両は、道路運送車両法及び道路運送車両の保安基準その他関係諸法令に適合し、かつ消防防災施設等整備費補助金交付要綱に定める車両の規格並びに救急業務実施基準等の諸法令をすべて満足するもので、緊急自動車として承認が得られるものであること。
- 4 受注者は、製造に先立ち本仕様書について当局と協議を行い、細部について確認を行うこと。なお、本仕様書に変更の必要を認めたときは、確認の図書（議事録等）を取り交わすこと。
- 5 製造途上に生じた一切の疑義は、すべて当局の解釈に従うものとし、必要に応じて指示又は承認を受けるものとする。

6 提出書類

(1) 受注者は製造に先立ち、次の製作図書を提出し承認を受けるものとする。

ア 着工届	1部
イ 内訳書	3部
ウ シヤシ諸元表	3部
エ シヤシ組立図	3部
オ 電気配線図	3部（ヒューズ系統図、使用電流一覧表含む）
カ 製作工程表	3部（7日以内）
キ ぎ装図	3部
ク 主任技術者及び専門技術者通知書	1部
ケ その他当局の指示するもの。	

(2) 完成納入時、次の製作図書を提出する。

ア 完成届	2部
イ 完成図	2部
ウ 完成配線図	2部
エ 各種取扱い説明書（シヤシ、積載品）	2部
オ 各種保証書	1部
カ シヤシ諸元表	2部
キ 完成車両の写真	3部

提出写真は、①前後、②左右側面、③上部、それぞれをA4用紙にカラー印刷したものとする。

ク その他当局の指示するもの。

第2 仕 様

1 シヤシ

(1) シヤシ諸元

全	長	5.70m以下
全	幅	1.95m以下

全高	2.60m以下
車両総重量	3.50トン未満
エンジン	ガソリンエンジン
最高出力	100kW以上
総排気量	2400cc以上
乗車定員	7名
駆動方式	4輪駆動
ミッション形式	オートマチック
燃料タンク容量	65L以上
発電容量	12V-150A 又は最大のもの
ブレーキ	4輪ABS装置付き

- (2) 運転席及び助手席は開閉ドア（ドアエッジ付）、側面部はスライドドア、後部は跳ね上げ式ドアとする。サイドスライドドア及びリアドアは半ドア防止装置を取り付ける。後部は跳ね上げ式ドアのサイド部に反射テープを貼付し、夜間でも横方向から後部ドアが開いていることが分かるようにすること。
- (3) 運転席、助手席ステップ部及び左スライドドアステップ部にアルミ縞板の滑り止めの処置をする。
さらに、左スライドドアステップ部のアルミ縞板の上には滑り止め加工（シール等）をすること。
- (4) リアに乗降用の大型ステップを取り付け、アルミ縞板を張り、さらに滑り止め加工（シール等）をすること。
- (5) リアバンパー部及びストレッチャー積載時に接触の恐れのある部分にアルミ縞板を取り付ける。
- (6) 患者室左窓ガラス下部2分1及びバックドアガラス下部2分の1をくもりガラスとし、どちらも上部2分の1をスイッチ操作で容易にくもりガラスに出来る仕様にする。右窓ガラス全面を白色フィルムとする。また、バックドアにはカーテンを取り付けること。必要に応じスモークフィルム等の処置をする。
- (7) 患者室横向きシートにはつり革、シートベルトを人数分取り付け、下部を収納庫とする。また、患者室前向きシートはヘッドレスト付きとする。
- (8) 当局の指定する場所に地図入れボックスを取り付ける。
- (9) 天井は断熱及び遮音性能を向上させるため外板、内板の二重構造とし、ルーフ上の無線アンテナは容易に保守点検ができる構造とする。
- (10) 運転席、助手席にエアバッグを装備する。
- (11) 資器材収納庫等
- ア 積載する資器材すべてを収納できるよう収納庫及び可動式収納棚等を必要数設ける。なお、ベッドサイドモニター及び除細動装置等は、使用しやすい場所に設置し、電源を必要とするものは、電源配線を行うこと。
- イ 走行中の振動による異音の発生が少ないこと。
- ウ 各引き出し等には固定装置（マグネット等）を設け、必要に応じて積載品の固定装置及び緩衝材（引き出し内部含む）を取り付ける。なお、配線等の損傷を考慮し、引き出しの角を隅切りとする。

エ 縦型収納庫の扉を開くことで、運転室と患者室の隔壁（飛沫感染防止用）になるようにすること。また、隔壁にした際に、資機材が落ちないように、落下防止措置を設けること。縦型収納庫側面にホワイトボードを取り付けること。

オ ルーフサイド収納庫右前に施錠装置を取り付ける。

カ 吸引器取り付け装置の上部付近にティッシュ、グローブボックス固定ベルトを取り付けること。（取付位置については、別途協議）

キ 手洗い装置を収納棚に変更し、上部に自動心臓マッサージ器が収納できる棚を設けること。（取付位置については、別途協議）

(12) 酸素呼吸器等

ア 酸素ボンベ（10ℓ 2本）収納庫を設け、アルミ製酸素ボンベ2本を取り付けること。ボンベについては容易にボンベの交換ができる構造とする。

イ ボンベの固定は、受け台及びワンタッチベルト（フック付）とする。

ウ 酸素残量計は、隊員が容易に確認できる位置に取り付ける。

エ 酸素呼吸器は、加湿流量計付酸素吸入器及び酸素蘇生器とし、次のとおりとする。
（ア）10ℓ 酸素ボンベ（バルブはロレットタイプ）に減圧弁（ヨーク型）をそれぞれ取り付ける。

（イ）それぞれの減圧弁から高圧ホースにより三方チーズに接続し、三方チーズ（ホース、ジュンロン）から1本で加湿流量計に接続すること。

（ウ）加湿流量計は2連式（ジャック、ジュンロン2個または3個付）とし、2名が同時に使用可能な構造とすること。

（エ）酸素マニホールドを2個増設すること。仕様にあつては、cloverの高圧ホースを接続できるものとする。

（オ）酸素ボンベには「F319」の打刻をすること。

（カ）酸素マスク収納箱（スライドドア又は跳ね上げ式扉付）を取り付けること。（扉部は必要に応じ、角を隅切りをする。）

(13) 冷暖房装置等

ア 運転室及び患者室が個別及び同時に冷暖房できる冷暖房装置を取り付け、操作スイッチは運転席及び患者室にそれぞれ設けること。

イ 患者室にカバー付換気扇（フィルターが容易に交換できるもの）を取り付け、操作スイッチは隊員が容易に操作できる位置に取り付ける。

(14) ストレッチャー等

ア 患者室内にメインストレッチャーを確実に固定し、かつ容易に解除できる固定装置を取り付ける。

イ ストレッチャー積載架台は防振機能付きとし、左右スライド、防振機能の固定が可能な構造とする。なお、ストレッチャーの出し入れは、傷病者の体位が水平状態のままスムーズに行える構造であること。また、脱着式のヘッドパッドを設けること。

ウ 積載架台の反転スロープ部に、走行中ロックが外れてもリアドアに傷をつけないよう、コーナーガード等の緩衝材を取り付けること。

エ スクープストレッチャー及びバックボード固定装置を設け、確実な固定と容易な解除ができる構造とする。

(15) 消防専用無線電話装置等

- ア 消防専用無線電話装置は、現車両からの積載替えとし、送受話器を運転室及び患者室に取り付ける。
 - イ 車両動態表示システム（NEC製）は、現車両からの積載替えとし、取り付け位置は各種装備等の操作の支障にならない位置とする。（前席中央部にデジタル無線機・AVM端末一体型とする）
 - ウ 消防専用無線電話装置及び車両動態表示システムに係る電源等の配線、取付け金具、受話器及びアンテナ等は受注者が全て用意すること。
 - エ データ等の変更作業が生じた場合は、受注者側において対応すること。
- (16) その他の装備品等
- ア 車両前面中央部に消防章を取り付ける。
 - イ デイライト（白色）を取り付ける。
 - ウ サイドミラーは、大型の物を取り付け、室内に助手席用のインナーミラーを取り付ける。
 - エ アースボンディングを取り付ける。
 - オ コーナーセンサーを取り付ける。
 - カ ドライブレコーダーを取り付ける。（取り付け位置は、別途指示）
 - キ デジタルインナーミラーを設ける。
 - ク パノラミックビューモニターを取り付ける。
 - ケ ヘルメットホルダー（4基）を取り付ける。（取り付け位置は、別途指示）
 - コ 助手席側に補助ミラーを取り付ける。
 - サ LED路肩灯（スイッチ付き）を取り付ける。
 - シ 乗降用ステップ専用ランプを取り付ける。
 - ス 患者室天井等にネット式の小物入れを取り付ける。
 - セ モニター用の配線等をかけるフックを天井及びサイドに増設する。
 - ソ ウォール型アネロイド血圧計を取り付ける。
 - タ マスク収納庫下に大型アシストグリップを取り付ける。
 - チ バックドア開口部左側に長尺グリップ及び下部に補助グリップを取り付ける。
 - ツ バックアイカメラを取り付ける。
 - テ レスキューツール4点を右側スライドドア内に取り付けること。
 - ト QQ Screen を取り付けること。

2 電 装 品

(1) 赤色警光灯

- ア 散光式赤色警光灯はLED式で、キャブルーフ前方に取り付ける。
- イ ルーフ後部左右に赤色警光灯、フロントバンパー及びフロントバンパー側面、ルーフ後方左右（対空及び後方対応）に赤色警告灯を取り付け、散光式赤色警光灯と連動で作動すること。（全てLED式とする）
- ウ 赤色点滅灯は、アクティビコン対応とすること。ギアをパーキングに入れても、スイッチ操作で強制的に発光できるような仕様とすること。
- エ 散光式赤色警光灯のスイッチは、運転席から容易に操作できる位置に取り付ける。
- オ バックドアにドアを開放した際に点灯する停止表示灯（LED式）を取り付ける。

(2) サイレン装置

- ア 電子サイレンのアンプ出力は50W級とし、ピーポー音で吹鳴できる構造とする。
- イ 電子サイレンは、音声合成装置付きとする。(マイク付属)
- ウ 電子サイレンアンプを運転席の操作しやすい位置に取り付ける。
- エ 運転席右側上部に、フレキシブルマイクロホンを取り付ける。
- オ 運転席から操作できる位置に音声合成装置のメッセージNo.1、No.2用のスイッチを取り付け、ON状態では連続してアナウンスが流れること。(No.1に「直進」、No.2に「感謝」と表示する)また、ハンドマイクについては、「出動」、「直進」、「交差点」とする。

(3) ルーフサイド左右にサイドフラッシャーランプを増設する。

(4) ルーフサイドに作業灯を設ける。

(5) 右スライドドア内部にドア開閉に連動するLED式の夜間照明を取り付けること。
照明下部にON/OFFスイッチを設ける。

(6) 各機器のスイッチ類は、運転席と助手席のダッシュボード中間部付近に設ける。また、名称を表示したプレートを取り付けること。

(7) 患者室内の照明は、調光スイッチ付きとし、救急業務に支障のない照度を確保できる大型LED灯を設ける。

(8) 患者室の室内灯スイッチは、隊員が容易に操作できる位置に取り付ける。

(9) 局部照明として患者灯2個を設け、スイッチは患者室内に設ける。

(10) 患者室後部(バックドア上部)に角度調整可能なスポットランプを設け、スイッチは3点式(オン、オフ、バックドア連動)としバックドア内側に取り付ける。

(11) 運転席及び助手席にフレキシブルライトを取り付ける。

(12) 患者室内にインバーター(AC100V-300W以上)を取り付け、車内に2口コンセント(アース付)を必要数設ける。(位置・数等は、別途協議)

(13) 電気関係機器で必要なものとして、雑音防止装置及びリレーを取り付ける。

(14) ヒューズボックスを増設し、取り付け機器は全てヒューズを通し、ヒューズボックス本体及び各ヒューズには名板並びに使用容量を明記すること。

(15) 当局の指示する場所に外部入力コンセントを設け、コンセント部及びコンセントカバーは、マグネット式で容易に脱着できるものとし、車庫内停止時に車両バッテリー充電、訓練電源を確保できる構造とする。また、外部電源入力時にはエンジンが始動出来ない構造とする。

(16) 各電源は救急資器材及び傷病者情報伝達に必要な電気容量であること。また100V電源で充電するバッテリー内蔵機器のコンセントには全て車庫停車中は100V、走行中は12Vに自動切換え出来るコンセントとする。

(17) バッテリーメインスイッチを取り付ける。(キースイッチ連動の場合は除く)

(18) 露出する電気配線については、走行振動等による断線等が起こらないような措置をする。

(19) 駐車時の活動に必要な充電能力を確保するための装置を設ける。(アイドルアップ等)

3 塗装及び記入文字等

(1) 車体は塗装に必要な下地処理を十分に行い、指定色を確実に塗装する。

(2) 車体の塗装は白色とし、全周に70mm幅程度の赤色テープを貼り付ける。(赤色ベル

トライン) なお、赤色ベルトラインは、全国消防長会事業部事業企画課が推奨する「再帰性に富んだ反射材」を貼付すること。また、車両前面の赤色ベルトラインの上に、白の再帰性に富んだ反射材を貼付する。

- (3) 車両両側のスライドドアおよびバックドアの赤色ベルトライン下に、左から消防章マーク（マークは金色とし、黒色に縁取りしたもの）の反射テープを貼付け、続けて「市川市消防局」の反射文字テープ（丸ゴシック金色とし、黒色に縁取りしたもの。文字の大きさは当局と協議）を貼付けること。
- (4) 車両側面上部に「行徳救急1」又は「曾谷救急1」と隊名標示の文字テープ（丸ゴシック青）を貼付する。
- (5) 車両側面下部、側面所属名下に白の「再帰性に富んだ反射材」を貼付する。
- (6) 標準タイヤ及びスタッドレスタイヤのホイールはメーカー標準品とする。
- (7) 車両ルーフ部両側面（作業灯の間）に「ICHIKAWA」その後方に「スター・オブ・ライフ」のデザイン反射テープを貼付ける。（丸ゴシック青）
- (8) 車両上部に「千葉 救急」の対空標示文字テープ（丸ゴシック黒）を貼付する。
- (9) 車両後部ガラス下部に救急抑制シールを貼付する。（サイズ、デザイン、材質については当局と別途協議する。）助手席側の前方バンパー部及び後部ドアに「行徳救急1」又は「曾谷救急1」と隊名標示の文字テープ（丸ゴシック青）を貼付する。
- (10) ボンネット隊長席側に「市川」の文字テープ（丸ゴシック青）を貼付ける。
- (11) 前部バンパー下と車両側面下部に「再帰性に富んだ反射材」の白ラインを入れる。
- (12) 車両後部の下部に赤色ラインの反射テープを貼付け、「ICHIKAWA CITY FIRE BUREAU」と白色テープを貼付する。
- (13) 車両後部の上部に「CALL119」と青色の反射テープを貼付すること。
- (14) その他必要に応じて当局の指示する文字及びラインを入れる。
- (15) ナンバープレートは、「市川版図柄入りナンバープレート（寄付金あり）」とする。
なお、自動車登録番号については別途協議。

第3 検 査

- 1 中間検査は、ぎ装完了前に当局と協議し実施する。
- 2 完成検査は、全ぎ装が完了し、積載品等が全て用意された時点で実施する。
- 3 各検査を受ける際は、2週間前までに書類で申請すること。
- 4 各検査には、営業及び技術担当者が立ち会うものとする。
- 5 検査項目
 - (1) 性能検査
 - (2) ぎ装検査
 - (3) 付属品等検査
 - (4) 検査については、一部省略又は社内データをもって代えることもある。
 - (5) 検査の結果、不合格と認めた個所については、直ちに修復のうえ再検査を受けること。

第4 保 証

保証期間はメーカーの保証する期間とし、定められていない場合は2年間とする。ただし、シャシ及び受注者側に起因する不都合箇所が生じた場合は、保証期間後も無償で修復又は修理すること。

第5 そ の 他

- 1 車両の納入場所は当局とする。
- 2 車両及び積載機器等の使用に必要な付属品等は全て納入すること。また、車両や資機材のメーカー標準装備付属品についても同様とする。
- 3 本仕様書に記載した機器等について変更がある場合は、当局と協議のうえ、同等品またはそれ以上のものとする。
- 4 本仕様書の内容で協議が必要な場合は、当局と協議のうえ、受注者は誠意を持って対処すること。
- 5 仕様内に工業権（特許権）がある場合は、受注者が解決を図ること。
- 6 全ぎ装完了後、陸運局の新規登録検査を受け、合格後納車することとし、重量税及び自賠責保険並びに自動車リサイクル料を除く一切の費用は、受注者側において負担するものとする。

第6 別表

1 シャシ (補助対象)

番号	品名	数量	摘要
1	シャシ	1式	高規格準拠

2 シャシ付属品 (補助対象)

番号	品名	数量	摘要
1	サイドバイザー	1式	左右フロントドア
2	泥除け	1式	
3	キー	3	リモコン式×3、キーホルダー付
4	フロントアンダーミラー	1	
5	ヘッドライト	1式	LED
6	フォグランプ	1式	
7	サイドフラッシャーランプ	1式	左右
8	バックドアカーテン	1式	電動、予備カーテン1枚
9	QQ Screen	1式	若しくは同等品
10	感染防止用間仕切り	1式	縦型収納庫扉兼隔壁
11	助手席用ミラー	1	サイドミラー上部に取付ける
12	患者室2～3人掛けシート	1式	下部収納ボックス、つり革付
13	上記用シートベルト	1式	
14	患者室前向きシート	1式	ヘッドレスト付
15	各シート用背当て	1式	
16	機材ボックス	1式	
17	網棚	1式	車内天井部
18	地図入れボックス	1式	運転席助手席間 運転席後方 後部座席
19	湿温度計	1	
20	患者室大型LED灯	1式	LED
21	患者灯	1式	白熱灯
22	スポットランプ (バックドア)	1式	

番号	品名	数量	摘要
23	点滴ホルダー	1式	ルーフ部ホルダー付、フック2ヶ所
24	インバーター装置	1式	
25	手指消毒器収納装置	1	
26	防振ベッド架台	1式	
27	バックボード取付装置	1式	
28	スクープストレッチャー取付装置	1式	
29	ヘルメットホルダー	4	
30	フレキシブルランプ	2	運転席及び助手席
31	バックブザー	1式	音声合成、オンオフスイッチ付
32	リヤステップ	1式	
33	バックドアLED表示灯	1式	点滅式
34	デイライト	1式	白色LED
35	LED路肩灯	1式	

3 取付品及び付属品 (補助対象)

番号	品名	数量	摘要
1	メインストレッチャー	1式	エクステンジ TC4080-S 又は最新型 (標準装備品含む、ガートル棒は予備を含む 2本、保育器用固定ベルト2セット) 若しくは同等品 ※反射テープ (貼付位置は当局と協議)
2	サブストレッチャー	1台	メインストレッチャーに含む
3	電子サイレン	1式	大阪サイレン OPS-D151 (音声合成、住宅モード付) ウー音スイッチ付若しくは同等品
4	赤色警光灯	1式	標準仕様 アクティビーコン 若しくは同等品
5	フロント赤色警告灯	1式	大阪サイレン製 LFA-150 若しくは同等品
6	フロントバンパー赤色警告灯	1式	大阪サイレン製 LFA-100 若しくは同等品
7	ルーフ後方左右赤色警光灯	1式	パトライト製 LP3 (対空+後方) 若しくは同等品
8	リアサイド赤色警光灯	1式	標準仕様
9	側面作業灯	4	大阪サイレン製 LIA-200

番号	品名	数量	摘要
10	人工呼吸器	1式	コーケンメディカル ANSWER Rセット (リューザブルシングル呼吸回路90cmから120cmへ変更) 車載用取付金具付 アンブマークIVセット×3、 アンブベビーセット×1 マスクNo.2小児用×1 ガスサプライバルブ×1 ベンチサポートアーム (アダプタ) ×1
11	酸素呼吸器	1式	加湿流量計オキシパック OX-III S 1式 酸素ボンベアルミ 10ℓ F319 打刻×2本 流量計付減圧弁ヨーク型×2本文P.3 参照 蘇生用マスク (大×4、小×2) 酸素ボンベアルミ 2ℓ ヨーク型バルブレットタイプ (残量表示機能付バルブ)F319 打刻×2本 LSP 減圧弁 ヨーク型プロテクター付 収納バックワコー商事マルチオキシゲン「市川市消防局」名入り)
12	吸引器	1式	日本船舶 (パワーミニックII 吸引器1式) 車両取付装置付、専用充電ブラケット、水容器、水容器ケース、シガーライターDCコード、カテーテルコネクタ3個、PESS フィルター10個、PESS ケース COMP×2個 ネラルトンカテーテル (8, 10, 12, 14, 16, 18fr) 各1箱 専用バッテリー×1
13	消火器	1	自動車用消火器 4型
14	デジタル体温計	1	テルモC206×1

4 軽微な変更として備えることができる取付品及び付属品 (補助対象)

番号	品名	数量	摘要
1	GPS ナビゲーションシステム	1式	チューナーレス
2	三角停止反射板	1	
3	車輪止め	2	ゴム製
4	消防章	1	消防局名、朱色ライン及び対空標示含む

5	携帯血圧計	1式	テルモ エレマーノ2 ES-H56 カフ (成人特大、大人、小児、乳幼児) 各1 若しくは同等品
6	検眼ライト	2	エイバン OE-15-61A (予備電球2個付) 若しくは同等品
7	聴診器	2	リットマンカーディオロジーⅢ (色:黒) 若しくは同等品
8	経鼻エアーウェイ	1箱	6、7、8、9mm 各10本入り1箱
9	喉頭鏡	1式	メガライトLED喉頭鏡 OE-1-1576-L (セットB) ※ハンドル (ミディアム) からハンドル (ショート) へ変更
10	マギール鉗子	1式	大、中、小各1
11	副子セット	1式	スノースプリント特大、大、中、小 各5 若しくは同等品
12	頸部固定用具	1式	ステイフネック 成人セレクトタイプ×1、 小児セレクトタイプ×1 収納ケース 若しくは同等品
13	丁番バット	2	エイバン OE-52150×1、OE-52151×1 レスキューシザー×1 若しくは同等品
14	止血帯	1式	エイバン E-MAT 救急ターニケット×1 サムスリングⅡ (スタンダード) OE-3-1950-1
15	駆血帯	1	井の内式
16	スクープストレッチャー	1式	スクープエクセル モデル65EXL (ピン付タイプ) ヘッドイモビライザー付
17	滅菌アルミホイル	1箱	滅菌アルミックシート10個入り OE-19-34 若しくは同等品
18	オゾン発生装置	1式	タムラテコ製 BT-03
19	ゴムシート	2	90cm×10m
20	噴霧消毒器	1	蓄圧式噴霧消毒器
21	膿盆セット	1式	ステンレス製 (30×6.5、27×4.5、 24×4、20×3) 各1
22	分娩用資機材	1	エイバン OE-45-05 若しくは同等品
23	アイスノン	1	アイスノンソフト 若しくは同等品
24	クーラーボックス	1式	15リットル程度のもの
25	心肺蘇生用背板	1	CPR用ボード

番号	品名	数量	摘要
26	救命浮環	1	SRT スローバック 291250 若しくは同等品
27	じゅすいぼん	1	ポリプロピレン製 若しくは同等品
28	収納ケース	1	ワコー商事 ファーストレスポンダーA-9 00/B 青色 若しくは同等品 「行徳救急1」「曾谷救急1」名入れ
29	患者用枕	1	日本船舶 ソフンピロー (型式「TT-1000-111」)
30	リングカッター	1	ドイツ型 替え刃2枚付 若しくは同等品
31	救命胴衣	3	NQS-7 型 若しくは同等品 「市川市 消防局」青色丸ゴシック文字入り
32	スタッドレスタイヤ	1式	ホイール付若しくは同等品
33	タイヤチェーン	1式	脱着が容易なもの
34	デジタル電波時計	1	
35	湿温度計	1	
36	メディカルシート	1	イワツキ 004-41613 80cm×60m (1ケ ース4本入り)
37	携帯用投光器	1	ファイヤーバルカンLED式 充電器付

5 取付品及び付属品 (補助対象外)

番号	品名	数量	摘要
1	車両盗難防止装置	1	
2	座席カバー	1式	防水座席カバー 当局と協議
3	患者用枕	1	ドーナツ型枕若しくは同等品
4	バックボード一式	1式	モデル 2010、ヘッドイモビライザーモデル 445×2、ストラップモデル 436×2 若し くは同等品
5	手洗い装置	1式	心臓マッサージシステム収納庫に改造
6	ウエストバッグ	2	シグナル ベーシックエマージェンシーウエ ストバッグ (オレンジ、ブルー各1個) 「行徳 救急1」「曾谷救急1」名入れ
7	ウエストポーチ	2	ワコー商事WKP-3500 レッド×1、ブラック×1 「行徳救急1」「曾谷救急1」名入れ

番号	品名	数量	摘要
8	ジャンプキッドバッグS	2	エイバン WJK-S 「行徳救急1」「曾谷救急1」名入り
9	携帯用パルスオキシメーター	1式	HP0-1601-FP クリッププローブ(成人・小児)付き
10	ホワイトボード	1	A4
11	ドライブレコーダー	1式	ウイットネスIV(患者室にカメラは設置しないこと) (予備SDカード4セット含む)
12	補修用塗料	2	タッチペン専用色
13	隊名マグネット	3	行徳救急1、曾谷救急1×各2 行救1、曾救1×各1 (白地×青丸ゴシック)
14	隊名シール	70	各大30枚 各小40枚 (白地・黒文字) 行徳救急1、曾谷救急1
15	外傷バック	1	日本船舶 FW-1401-151
16	救急抑制シール	1	「救急車の適正利用にご協力ください」
17	消防専用無線電話装置取付け	1式	本文中のとおり
18	車両動態表示システム取付け	1式	本文中のとおり
19	成人用カフ	3	YP-713T ベッドサイドモニター用
20	ヒップバックバック	2	ワコー商事 J900-B
21	ウォール型アネロイド血圧計	1式	カフ(成人特大、大人、小児、乳幼児)付属
22	頸部固定用具	1式	ステイフネック 成人セレクトタイプ×9、 小児セレクトタイプ×5
23	ビトロード	1	ビトロードL-150X 10箱若しくは同等品
24	ターポリン担架	2	ターポリン製(足袋、ベルト2本付) 予備ベルト2本
25	レスキューコアマット	2	シングル
26	吸水シート	3箱	アンダーパッド(ALCNU100) 若しくは同等品
27	フィンガープローブ	2	TL-201T ベッドサイドモニター用若しくは同等品
28	救急かばん	2	ショルダータイプ
29	携帯用拡声器	1	ウエットアカメガ TRM-10若しくは同等品

番号	品名	数量	摘要
30	活動用安全ベスト	3	SAVERS EMS メッシュベストブルー 上段「市川市消防局 ICHIKAWA FIRE BUREAU」 下段「行徳救急1」「曾谷救急1」 名入れ バックプリント ベース青、白文字
31	防刃チョッキ	3	「市川市消防局名 行徳救急1」 「市川市消防局名 曾谷救急1」 名入れ 若しくは同等品
32	救急万能ハサミ	1	OE-4-2207
33	タオルケット	2	カラー：ホワイト以外
34	救急バインダー	1	当局と協議
35	フロアマット	1式	
36	ナンバーフレーム	1式	
37	キー	3	予備キー
38	ワンタッチハンガー	1	
39	自動体外式除細動器 バッテリー	1	除細動器予備バッテリー(SB-220V)
40	心臓マッサージシステム	1式	clover3000 (背板予備×1) PRIME パッケージ「市川市消防局行徳救急1」 「市川市消防局曾谷救急1」名入り 単3電池 エボルタ又は同等品30本 シリコンヘッドハーネス5枚 Air Soft ディスポマスク大人用4組 オーバーオールショルダーベルト (追加) JP酸素変換アダプタ 酸素供給ホース4m (追加) テストバック予備×1
41	デジタル体温計	1	皮膚赤外線体温計OE-15-87×1
41	使い捨てパドル	50	半自動体外式除細動器用

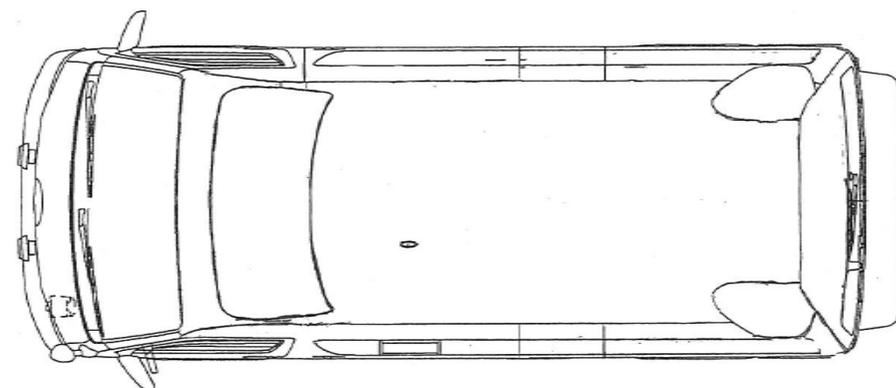
6 高度救命用資器材 (補助対象)

番号	品名	数量	摘要
1	気道確保用資器材	1式	ラリングルチューブサクシオンLTS サイズ 3・4・5各15本 トーマスチューブホルダ OE-40-91-2 (5個)

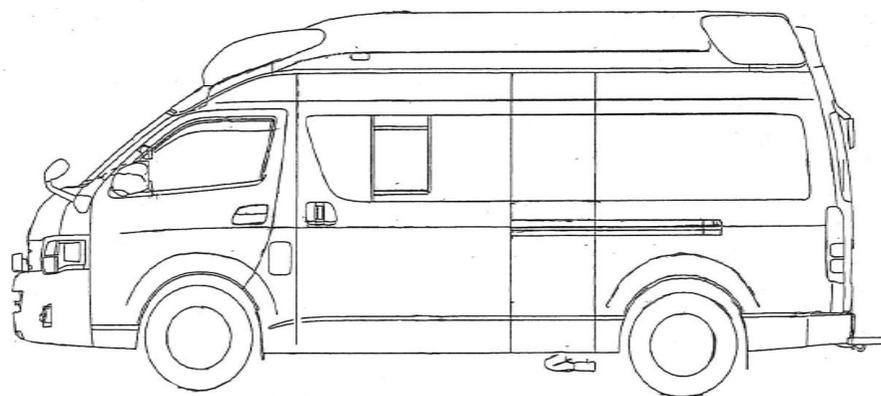
番号	品名	数量	摘要
2	半自動体外式除細動器	1式	日本光電 TEC2603 (標準付属品含、プリンター込) 除細動レポート表示ソフトウェア QP-551V SDカード QM-002D 2個 SDカードリーダー (USB2.0対応) 記録紙R FQW50-2-100 10冊入 1箱 ウォールマウント エネルギーチェッカー×1 キャリングケース バッテリーパック SB-220V 2個 バッテリーチャージャーSB-205V (電源コード込) SP02 フィンガープローブ TL-201T
3	輸液用資器材	1式	輸液セット TI-U357P (延長チューブ、三方活栓付) ×1箱 留置針 スーパーキャス5 20G×1箱、 22G×1箱 若しくは同等品
4	血中酸素飽和度測定器・心電計	1式	日本光電BSM-3562 1式(バッテリー含まず) ベットサイドモニタBSM-3562 バッテリーパック SB-671D 1個 フィンガープローブTL-201T 1個 マルチプローブTL-220T 1個 成人用(大) YP-714T 2個 成人用カフ YP-713T 5個 小児用カフ YP-712T 2個 幼児用カフ YP-710T 2個 血圧中継エアホース YN-901P 体温中継コードJT-900P 1個 サーミスタ温度プローブP242C 1個 体表断熱カバーP252 1個 記録紙 FQW50-2-100 1箱 CO2センサキットTG-920P エアウェイアダプタ YG-111T 1箱 ワンタッチハンガーY245(マジック式) 若しくは同等品 ビトロード L-150X 1箱

*上記品名の中で型式変更をして同等品を納める場合、性能等確認できる資料を受注者が用意し、当局と充分協議すること。

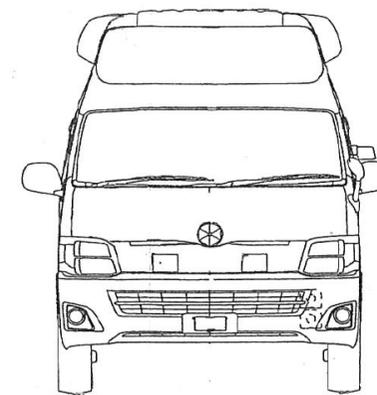
高規格救急自動車 概要図



← 5.70m以下 →



↑ 2.60m以下 ↓



← 1.95m以下 →

名 称	高規格救急自動車
年 度	令和5年度
配置場所	南消防署 行徳出張所 行徳救急1 北消防署 曾谷出張所 曾谷救急1